

地いきのことは市民センターへ

市民センターは、地いきの活動や地いきの人の交流・学習の中心となる場所です。
北九州市では、小学校の校区ごとに市民センターが設置されています。
地いきのふれあいを大切にする場所として気軽に利用してください。

Q. わたしの地いきの市民センターの名前は？

A.

市民センター

毎月発行する「市民センターだより」でイベントのお知らせもしていますので、ぜひ来てくださいね。



市民センター
館長

わたしたちにとって家族が大切なように、地いきのつながりはとても大切です。

わたしたちのまちを、わたしたちの力でより住みやすいまちにするため、みなさんも自治会・町内会の行事に参加して、地いきのこともっとすきになってくださいね。



発行
問い合わせ先

北九州市 市民文化スポーツ局 地域振興課
TEL. 093-582-2111

北九州市印物登録番号：第 22100576 号

SDGsの視点に立った地域教材資料集
わいわい 北九州 補助資料

自治会・町内会のはたらき



小学校 3年組
4年組

氏名

北九州市

はじめに

マーク/DVD教材に動画があります

みなさんが使っているSDGsの視点に立った地域教材資料集「わくわく!北九州」には、地いきの人として、「自治会・町内会の人のお話」がたくさん出てきます。この冊子は、みなさんに自治会・町内会のことをもっと知ってもらうために作りました。



自治会ってなあに？

自治会は、住みやすいまちを自指して、地いきの人が協力し、さまざまな活動をするための集まりです。町内会ともいうので、この冊子では、自治会・町内会とよびますね。



先生



自治会・町内会って北九州市内に、どのくらいあるのかな？

北九州市内には約2,800の自治会・町内会があり、だいたい100軒(世帯)くらいがひとつの集まりになっています。その中で活動しやすいように、組や班という10軒(世帯)くらいずつの小さなグループをつくっているところが多いようです。



先生



どんなことをしているの？

住みやすいまちをつくるために、さまざまな活動をしています。どのような取組をしているか、自治会・町内会のみなさんにくわしく紹介してもらいましょう。



先生

この冊子に登場するキャラクター



自治会・町内会のみなさん

りんさん

しょうさん

あゆみさん

けんたさん

自治会・町内会のはたらき

もくじ

「わくわく!北九州」での学習ページ

●安全な暮らしを守る人

- (1) 火事から暮らしを守る取組 2
- (2) 事故や事件から暮らしを守る取組 4

P62・63

P74・75

●住みよいくらしを支える人

- まちをきれいにする取組 6

P96・97,103

●自然災害から暮らしを守る人

- 自然災害にそなえる取組 8

P124・125

●北九州市や県の伝統・文化

- 伝統を守る取組 10

P132~139

●まとめ

- (1) 自治会・町内会のはたらき 12
- (2) わたしたちにできること 13



安全なくらしを守る人



(1) 火事からくらしを守る取組



地いきでは、火事からくらしを守るために、どのようなことをしているのかな？

自治会・町内会で「市民防災会」を作っています。消防しよの人と協力して、地いきで消防くんれんをしたり、年末には拍子木を鳴らして火の用心の見回りをしています。



市民防災会って色々な活動をしているんだね。

市民防災会のスローガンは、「向こう三軒両隣り、みんなで気配り助け合い」です。これは、自治会・町内会の活動すべてにつながる言葉です。



「向こう三軒両隣り」ってどういう意味かな？



向こう三軒両隣りのイメージ図

「向こう三軒両隣り」とは、自分の家(赤い屋根)の向かい側の3つの家(緑の屋根)と、左右の2つの家(青い屋根)のことで、親しくつきあうご近所という意味です。「身近なご近所で助け合いましょう」という気持ちが込められているんですよ。

つまり昔から、自分の家だけでなく、まわりの家の人と助け合いましょうという思いが込められて使われてきた言葉なのです。



消防しよの人との協力



消防しよの人との勉強会

大きな火事や大災害が起こったとき、消防車が現場まで行けないことや、消火栓が使えないことも考えられます。このような時、バケツリレーなどの初期消火活動がとても大切だと消防しよの人に教えてもらいました。万が一にそなえ、地いきで何ができるのかを消防しよの人といっしょに考えて取り組んでいきます。

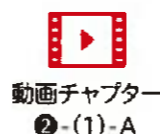


消防くんれん



バケツリレーのれんしゅう

小倉南区の徳力校区では、約20年ものあいだ校区の体育祭にあわせて防災くんれんをしています。子どもからお年寄りまで参加するバケツリレーでは、消防しよの人にバケツの受けわたし方や水の量を教えてもらいます。このようなくんれんをいかし、地いきの大切な神社やお寺を火事から守る活動も行っています。



アイテム紹介



●水消火器

くんれん用の消火器。消火剤のかわりに水が入っていて、くり返し使えます。



くんれんの様子

なるほど自治会・町内会

自治会・町内会で作られている市民防災会

北九州市では、平成7年の阪神・淡路大震災をきっかけに、今まであった火事をふせぐためにつくられていた「防火協会」を、平成9年7月に火事や地震などの災害にそなえる「市民防災会」にしました。

この市民防災会は、自治会・町内会で作られています。



北九州市消防局マスコット 消すぞう君

安全なくらしを守る人



(2) 事故や事件からくらしを守る取組

■事故から守る



学校に行くときに見守りをしてきている人は、どんなことをしているのかな？
いつも立っていている自治会・町内会の人に聞いてみたよ。

Q. どうして見守りをしてきているのかな？

A. 10年くらい前、校区内で小学生が交通事故にあったんだ。それから地いきで子どもを守ろうとはじめたよ。わたしは、それからずっと立っているよ。

おはよう！



Q. 朝は何時くらいから立っているのかな？

A. 朝7時30分から8時30分まで立っているよ。毎日会っていると顔や名前をおぼえるよ。

Q. 立つ場所はどうやって決めているのかな？

A. いっしょに見守りをしているPTAや地いきの人達と通学路で車に気をつけることを考えて立っているよ。

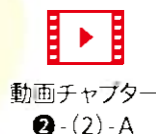
Q. 気をつけていることはあるのかな？

A. 元気なあいさつをすることと、止まってくれた車にありがとうの気持ちを持つことを心がけているよ。

アイテム紹介

●はた

このはたで、車や人をゆうどうするよ。



動画チャプター ②-(2)-A

なるほど自治会・町内会



交通公園
マスコットキャラクター
わたる君

雨の日も雪の日も、みんなが学校に行く日は立って見守りしてくれているよ。見守りや防はんパトロールをする人は、ボランティアでやってくれているんだ。

見守ってくれている地いきの人に、ありがとうという気持ちを行動であらわしてみたいね。



動画チャプター ②-(2)-C



☑ 雨の日の見守り

■防はんパトロール



「防はんパトロール」って、どんなことをしているのかな？



☑ 夜の防はんパトロール

アイテム紹介

●ライト

夜道を明るくして、パトロールしていることがわかるようにしています。

●反射材

遠くからでも目立つので、安全にパトロールできます。



地いきのみなさんと協力して行っている「防はんパトロール」では、昼間はもちろん、とくに事件が起きやすい夜間に、不しんな人や車を発見するなど、まちの安心・安全を見守る活動をしています。



動画チャプター ②-(2)-B

■防はん灯

大きな通りは、市が「街路灯」などの照明を取りつけていますが、生活道路とよばれる地いきの人が通る道などは、自治会・町内会が「防はん灯」という照明を取りつけています。

電気代はみなさんから集めた自治会・町内会費からはらっています。

電気の使用量が少なく長持ちするLEDへの取りかえを進めています。

ステッカーをはっている地いきもあります。

防はん灯は市内に約54,000個あります。



☑ 防はん灯にはられているステッカー

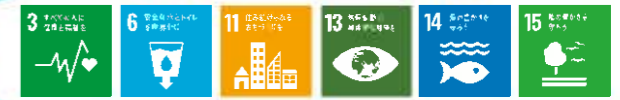


☑ 防はん灯

防はん灯がなかったら暗くてあぶないね。



住みよいくらしを支える人



まちをきれいにする取組

1 ごみステーションをきれいにする



ごみステーションの清掃

この前の朝、ごみステーションがカラスにあらされて、とても散らかっていたよ。でも次の日にはきれいになっていたんだ。だれがきれいにしてきているのかな？



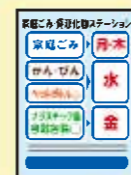
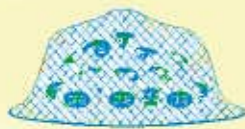
動画チャプター ③-A

ごみステーションは、みんなで使う場所だから、自治会・町内会などで当番を決めて、いつもきれいにそうじをしているんですよ。カラスにあらされたごみのかたづけは大変だけど、みんなで協力して大好きなまちを守っています。

アイテム紹介

●防鳥ネット

カラスが、ごみ袋をあらさないように、ネットをかけてごみを守ります。



●けいじまく

ごみの種類によって、ごみステーションに出せる曜日がちがうことが書いてあります。

なるほど自治会・町内会



〇ていたん&ブラックていたん 北九州市環境マスコット ていたん&ブラックていたん

自治会・町内会で作られている環境衛生協会

環境衛生協会は、まちをきれいにする取組や、ごみをへらす取組、感染症を予防し、地いきの人たちの健康をささえる取組などを行っています。

地いきのよりよい生活環境をつくり、住んでいる人が健康で気持ちよく生活できるように活動しています。

動画チャプター ③-C

2 まちをきれいにする



ほかにも、まちをきれいに保つためにどのようなことをしているのかな？

■公園・川の清掃



1 梶田川での清掃活動



2 公園での清掃活動

動画チャプター ③-B



八幡東区の梶田校区では、小学校と自治会で20年以上清掃活動をしています。自分たちの手で公園や川をきれいにする事で、子どもたちはごみをポイ捨てしません。子どもたちと一緒に、自然豊かな地いきを守っていきたいと思います。

3 ごみをへらす

■古紙・古着回収、リサイクル



自治会・町内会やまちづくり協議会では、古紙や古着のリサイクル、家の庭で切った枝や木の葉のリサイクル、使用済み食用油のリサイクルなどに市と協力して取り組んでいます。



2 市民センターの古紙回収ボックス

集まった古紙は、工場でトイレットペーパーなどに生まれかわります。また、古紙回収でもらったお金は、地いきの行事などに使っているんですよ。



そうなんだ。わたしも今度持っていこう。

自然災害からくらしを守る人



自然災害にそなえる取組



地いきでは自然災害にそなえて、どのようなことをしているの？

地震や台風、大雨などの災害がおこったとき、地いきの人があわてずひなんできるように、消防しょなどと協力して防災くんれんをしています。



■ひなんくんれん



ひなんくんれんの様子



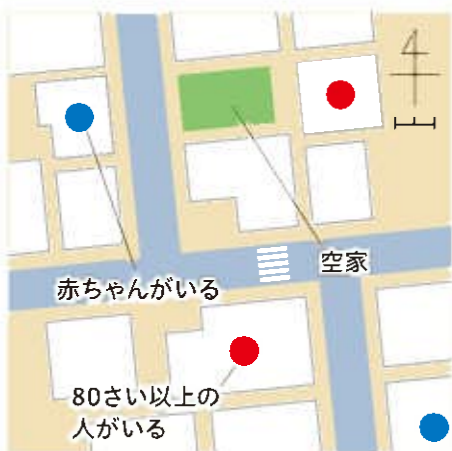
防災スピーカー

門司区の松ヶ江北校区の海がわは、津波のけいかい区いきです。命を守るために津波からいち早くにげなければいけません。そのためにも、小学校やふくししせつの方に参加してもらってひなんくんれんを毎年行っています。

地震による津波や土砂災害から、地いきのみなさん、未来をになう子どもたちを守るため、地いきのつながりを大切にしながらくんれんをくり返すことで、災害がおこったとき、あわてず行動できるようになると思っています。



■防災みまもりマップづくり



防災みまもりマップの例

八幡西区の自治会・町内会では、「防災みまもりマップ」をつくりはじめました。地いきの方の話を聞きながら、赤ちゃんがいる家や一人ぐらしの高齢者、体の不自由な方がいる家に、赤や青のしるしを地図につけ、いざという時に助けに行けるようにそなえているのです。

日ごろからつながりをもって、校区に住んでいる人がひとりぼっちにならないよう、みんなで助け合いながら、住みよいまちを自分たちで作っていきたいと思っています。



■助け合いの仕組



■共助のために ~日ごろからの見守り~



自治会・町内会は、共助のために何をしているの？



回らん板をまわす様子



地いきの情報をお知らせする市政だよりを配ったり、回らん板を回したりしています。ある日、新聞がたまっていたおかしいと思ったら、一人ぐらしの高齢者がたおれているのを発見しました。情報を手から手へわたすことは、地いきの見守り活動につながっているのですよ。



なるほど自治会・町内会

共助のちから



いつ起こるか分からない自然災害から命を守るには、まず自分の命は自分で守る「自助」、そして地いきで助け合う「共助」が必要です。

台風、地震、大雨など大きな災害がおこった時に、共通して言われることは「助け合い」です。ご近所同士声をかけ合ってひなんしたことで、命が守られたケースがたくさんあります。また、ひなんした先のひなん所でも助け合いが必要になります。

日ごろからのつながりや、そなえが、いざという時に命を守ることに繋がります。

北九州市や県の伝統・文化



伝統を守る取組



「わくわく!北九州」に、北九州市内の祭りや年中行事の写真がたくさん
のっていたよ。地いきによっていろいろな祭りや行事があるんだね。



動画チャプター 9-A

地いきの祭りや年中行事は、昔からずっと続けられてきたものです。これらは伝統を受
けつぐだけでなく、地いきの人たちの結びつきを深める大切な行事です。私たち自治会・
町内会はそれを守る役目があります。



■若松の火まつり行事



📷 たいまつ行列の様子



📷 たいまつ行列の様子

若松区の火まつり行事は、地元出身の作家・火野葦平さんがはじめた祭りで、「戦後のすさんだ世の中を明るくしてさう」と昭和29(1954)年に始まりました。



若松区マスコットキャラクター わかつぱ

アイテム紹介

●たいまつ
竹でできた、たいまつ
節の中には灯油が
入っています



動画チャプター 9-B

参加者は、たいまつを片手に高塔山山頂を目指して歩きます。安全に行うには、多
くの人たちの協力が必要で、地いきの人たちのはげましや見守りのもと、子どもたち
は楽しみながら参加しています。

人と人との結びつきを深める火まつり行事は若松のほこりで、大切に守ってい
こうと思います。

自治会・町内会では、地いきの伝統行事を守りながら、ご近所の人たちと交流する機会
をつくっています。盆踊りやどんど焼きなど、昔から続く身近な行事も自治会・町内会が
行っているんですよ。



📷 盆踊り



📷 どんど焼き



動画チャプター 9-C



わたしは、どんど焼きに参加したことが
あるよ。
近所の人たちがたくさん集まってい
て、ぜんざいをもらって食べたんだけど、
とてもおいしかったよ。



📷 もちつき

ほかにも、地いきの人と子どもたちがいっしょに楽しめる行事を行って、地いきでのふれ
あいの場をつくっています。



📷 ウォーキング



📷 プレイパーク

小倉北区の霧丘校区では、子どもから大人までいっしょに歩くウォーキングイベン
トをしています。気持ちよく歩いたあとは、おいしいお弁当などをみんなで食べて、楽しい
時間をすごします。また、子どもたちが外でのびのび遊べるプレイパークもつくってい
ます。住みよいまちづくりは、ご近所の人と仲良くすることからはじまります。楽しい行事
に参加してもらって、知り合いをたくさんつくってほしいですね。



(1) 自治会・町内会のはたらき

安全な暮らしを守る

防災くんれんや、防犯パトロール、見守り活動などで地いきの安全を守っています。防犯灯の設置や管理を行っています。



伝統を受け継ぐ

地いきのつながりを深める

盆踊りなどの祭り、もちつきやどんど焼きなどの伝統行事を行います。また、運動会、敬老会、ピクニックなどの行事を行い、地いきでの交流の場をつくっています。



住みよいくらしを支える

ごみステーションの維持管理、道路や公園の清掃活動を行っています。



支えあい、まちづくり

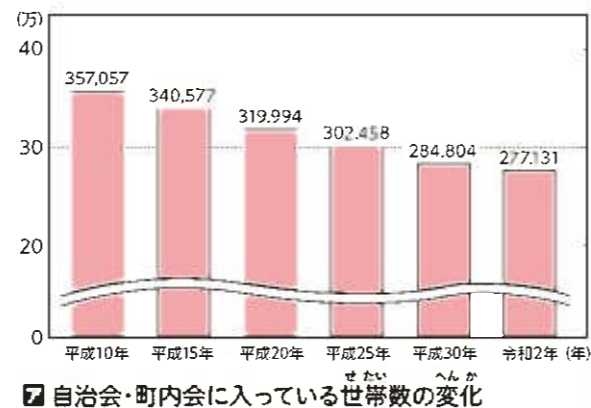
子どもから高れい者まで地いきのみんなで見守り、お互いに支えあっています。地いきのよいところをいかしたまちづくりを考え、さまざまな活動を行っています。



なるほど自治会・町内会

地いきには、地いきのための活動をしている団体がたくさんあります。自治会・町内会はこれらの団体の橋渡し役になっている地いきの中心となる団体です。自治会が人と人をつなぎ、多くの団体が協力してさまざまなイベントや活動が行われています。

市のまちづくりにおいても、自治会・町内会は大切なパートナーです。しかし、自治会・町内会に入る方は、年々へっています。



本当だ。グラフを見るとへっているね。ぼくたちに何ができるのかな。

(2) わたしたちにできること

わたしたちの町はわたしたちがつくる。自分たちにできることを考えよう。

● 住みたいと思うまちを絵にしてみましょう。

わたしが住みたい

なまち

● 住みたいと思うまちをつくるために、わたしたちができることをまとめてみましょう。

